

---

# ある仕事

あるふぁー 1 1 8

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある仕事

### 【Nコード】

N7013E

### 【作者名】

あるふぁー１１８

### 【あらすじ】

ある男の仕事、その仕事とは・・・・・・・・・・。

## （前書き）

にも 妙な物語的なものです。

実験的なものなのでどんなことを思ったか  
感想してくれるとうれしいなあとか思ったり。

「いやあ、大変でしたね」

と、前にいる人当たりの良い笑顔を自分に向けている男がいた

「え？何が？」

自分は意味がわからずかしげる

「え？」

相手は不思議そうな顔した

「え？自分の身に何かあったのですか？」

「知らなきゃ良いんですけどね」

人当たりの良い笑顔を向けている男は優雅にコーヒーを飲んだ

「ふう・・・さて仕事に戻らないと」

「は？」

人当たりの良い笑顔を向けている男はゆっくりと手を懐に入れる。

「いやあ、大変ですね」

男は懐から銃を取り出し、自分に銃を向けた。

「死ぬことが」

「・・・・・・・・」

夜、暗い寝室で一人の男が目を覚ました

男は周りを見渡した後、部屋に電気をつけた

「夢・・・、なんともまあ、変な夢なこと」

男はひとりごちたあと、今の時間を確認する

「午前2時34分・・・中途半端な時間だなあ」

またひとりごちたあと、男は寝室を後にした

男はリビングでコーヒーを淹れていた

「あ、そういえばあの夢でもコーヒーがあつたな」

コーヒーを啜りながら男はTVを点けた

男は考えていた

（さっきの夢はなんだつたんだろうか？意味はあるのかねえ？）

（自分が死ぬ夢なんて嫌なもんだよ）

（あのあたりの良い笑顔を浮かべた男はなんだつたんだろうか）

（見たこと無い・・・よなあ、あつたらあつたらでどんな顔して合えばよいんだか）

「いやあ、大変でしたね」

と、前にいるあたりのよい笑顔を浮かべた男が言った

「は？」

「いやあ、知らなければ良いんですけどね」

「はあ？」

前にいるあたりの良い笑顔を浮かべた男は笑いながらいった。

「あれ？覚えてない？まあ、いいんですけどね」

あたりの良い笑顔を浮かべた男は苦笑した

「コーヒー淹れてくれてありがとうございます、好きなんですよ」

あたりの良い笑顔を浮かべた男は頭を下げた。

「さて、これも仕事ですから」

男は頭を上げると懷から銃を取り出した

「じゃ、またいつか会う日まで、無いと思いますが」

あたりの良い笑顔を崩さずに男は自分の胸に銃を発砲した。

一人の男がリビングのソファで倒れていた  
コーヒークップがテーブルに置かれていた。  
倒れている男の胸に血はついていない

「いやあ、大変でした」

人当たりの良い笑顔を振りまく男がいた

その男は誰もいない空間で誰もいないところに向けて話しかけていた

「我々の仕事は人に死を予告させること、そして死をその人に届けること」

人当たりの良い笑顔を振りまく男が苦笑する

「まあ、予告させるといつて遠まわしにですけどね」

「それでも、死を前もって知るということは良いですよ、安心しますからね、人は」

人当たりの良い笑顔の男は懷から紙を取り出した

「さて、仕事しないと・・・え？自分の仕事がなにかって？」

人当たりの良い笑顔の男は紙をしまいながら言った

「それは、

」

（後書き）

ども、作者のあるふぁー１１８です。

なんとなく変な小説を書きたくなったので書いてみました。

雰囲気は にも 妙な物語的な？

この夏にちよつとヒヤツとする小説的な。

読者の人にも考えてもらおうかなあ、的な。

人当たりの良い笑顔を振りまく男性はなんなのかとか。

倒れている男性は撃たれたのか、それともただ単に

おっと、それは見た方が感じ取ればよいかなあ。

あとがき長いよとか言われそうなのでここらへんで。

ではまた。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7013e/>

---

ある仕事

2011年1月27日02時01分発行